



轡の浦学園だより



No.8
2022年(令和4年)7月15日

ぼくの親も、ぼくを守ってくれているよ! ～ 懇談は、子どもも大人も共に意欲の持てる時間に!～

一学期も残り2週間、職員室にきれいに咲いた胡蝶蘭も4年目に入ります。すごい生命力を感じます。先月、北校舎2階窓枠の外の巣から、セキレイのひなが巣立ちました。先日も別の所に巣があり、数人がそばにいました。

「どうしたの? なにかあったの?」
「巣があるんですよ。今、親がいるから行かない方がいいよ。」
「ひながいる?」
「うん、そう。親がひなを守ってくれているからね。」
「だから、みんなそっと離れたんじゃねえ。」
「ぼくの親も、ぼくを守ってくれているよ!」・・・

親の愛情を実感している言葉です。時に厳しく叱られたり、時に褒められたり、一人で悩み考えたり、みんなと楽しく過ごしたり・・・こうして当たり前の毎日が過ぎていきます。

ところで、轡の浦学園には教育の羅針盤「学校評価自己評価表」があります。1年間で子ども達にどんな力を育てるのか、目標や取組、評価指標をまとめた経営計画です。HPに掲載していますが、3つの目標の1つを紹介します。

○ 児童生徒一人一人の学びを最大限に引き出し、一人一人が自らの伸びや成長を実感できる。

「実感」できれば「本気」につながり、無限に動き始める可能性があります。将来の夢や目標、そして自らの志を、学年に応じて考えるきっかけをたくさん与えたい。何のために学ぶのか、そのきっかけを育むために、今年もプロボノ等の外部人材から学ぶ機会を大切にしています。

個人懇談・三者懇談を計画しています。懇談では、一人一人の努力や頑張り、できるようになったことなど、成長の視点を大切にします。他人と比較しながら「良い・悪い」とか「できる・できない」で判断されると、やる気が持てず劣等感しか残りません。

義務教育は、豊かな人生の土台を確かなものにするためにあります。懇談は、一学期をじっくり振り返り、「頑張るぞ!」「頑張っ!」と子どもも大人も共に、意欲と展望が持てる時間にしたいと考えています。一人一人が自分らしく「いのち、輝く!」です。

チャレンジウィーク～大きな一歩～

7・8年生の生徒は、7月6日～8日に地域の事業所に協力していただき、職場体験を行いました。このチャンスを生かそうと、自分で課題を見つけ、解決するために積極的に活動を行うことで、たくさんの気づきがうまれました。

自分の得意なことや不得意なことに気づきました。



コミュニケーション力を高めるためには、想像力を働かせることが大事だと思います。



仕事の大変さも「ありがとう」の言葉で達成感ややりがいが変わりました。



衛生管理の重要性、責任をもって行動することの大切さが学びました。



新聞づくりにチャレンジ!!



学園会の子供達を中心に新聞を作成して発行しようと、企画・準備を進めています。

轡出身の新聞記者である山川文音さんとの出会いをきっかけに、人と人をつなぐ新聞をつくっていきたいと考えた子供達のチャレンジが始まっています。7月末、第1号発行予定です。

